

ZAP-70チロシンキナーゼ ヒト、組換え

Cat. No. NATE-0738

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

ZAP-70は、T細胞およびナチュラルキラー細胞の細胞質にのみ局在するSykファミリーのタンパク質チロシンキナーゼです。T細胞の活性化に必要です。Lckによるチロシン残基のリン酸化によって活性化されます。ZAP-70チロシンキナーゼはSykファミリーに属するタンパク質であり、T細胞の活性化に不可欠です。活性化誘導T細胞アポトーシスにおけるFasリガンドのアップレギュレーションを促進します。さらに、LFA-1依存性T細胞移動において重要な役割を果たします。

用途

ヒトZAP-70チロシンキナーゼは、T細胞のシグナル伝達タンパク質の活性化メカニズムを調査するために、LAT (T細胞活性化のためのリンカー) 上のリン酸化部位をマッピングするためを使用されました。

別名

ZAP-70チロシンキナーゼ; ゼータ鎖関連タンパク質キナーゼ70; ZAP-70; SRK; STCD; STD; TZK; ZAP70

製品情報

種

人間

由来

パキュロウイルスに感染した昆虫細胞 (ヒスチジンタグ付き)

形態

緩衝された水性グリセロール溶液

分子量

mol wt 70 kDa

純度

> 90% (SDS-PAGE)

活性

> 150 U/mg

緩衝液

25 mM HEPES、pH 7.5、150 mM NaCl、0.5 mM DTT、および50%グリセロールを含む溶液。

代謝□路

適応免疫系、特定の生物に特有のバイオシステム; B細胞受容体シグナル伝達□路、特定の生物に特有のバイオシステム; セカンドメッセンジャー分子の生成、特定の生物に特有のバイオシステム; 免疫系、特定の生物に特有のバイオシステム; 炎症反応□路、特定の生物に特有のバイオシステム; ナチュラルキラー細胞媒介の細胞毒性、特定の生物に特有のバイオシステム; ナチュラルキラー細胞媒介の細胞毒性、保存されたバイオシステム

機能

ATP結合; 非膜貫通型タンパク質チロシンキナーゼ活性; ヌクレオチド結合; タンパク質結合; タンパク質チロシンキナーゼ活性; タンパク質チロシンキナーゼ活性; タンパク質チロシンキナーゼ活性

単位定義

1ユニットは、37°C、pH 7.0で1分あたり1nmolのポリグルタミン酸:チロシンをリン酸化します。

保管・発送情報

安定性

-70°C